

マイクロ波やミリ波は携帯電話，無線 LAN に代表されるワイヤレス情報通信のみならず，レーダやセンサ，ワイヤレスで電力を送る無線電力伝送システムへの応用などにも展開されています。今後も，IoT や 5G など社会基盤の発展を目的として，マイクロ波・ミリ波帯更にはテラヘルツ帯におよぶ幅広い周波数帯において，デバイス・回路・システムなどに対して更に高度な技術が求められています。このような背景のもと，大学等の教育研究機関による基礎的研究や産業界との共同研究の推進は，技術的貢献のみならず将来の産業界を担う若手技術者育成の面でも，この分野の発展に大きく寄与するものと考えられます。そこで，和文論文誌 C 分冊では，大学をはじめとする教育機関が主体となつて行われた研究・開発の成果をまとめる「マイクロ波ミリ波論文特集」（2021 年 1 月）の発行を企画致しました。本特集は，マイクロ波・ミリ波・テラヘルツ技術の基礎研究から応用研究，実用化技術にわたる優れた研究成果を発掘し，産業界をはじめとする幅広い分野の方々に紹介すると共に，学生の方々にも論文投稿の機会を提供するものです。対象分野は，回路・アンテナ・電波応用システム・シミュレーション技術・測定評価技術などマイクロ波・ミリ波・テラヘルツ技術全般としていますので，教育機関の皆様からの積極的な御投稿を期待しております。

### 1. 対象分野

マイクロ波・ミリ波・テラヘルツ技術全般が対象で，トピックスを以下に示しますが，これらに限定するものではありません。

- ・能動回路・受動回路・アンテナ
- ・デバイス技術
- ・電波応用システム
- ・測定評価技術
- ・シミュレーション，モデリング技術
- ・無線電力伝送
- ・マイクロ波・ミリ波応用

### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文誌と同様とし，論文は刷り上がりページ数 8 頁程度，ショートノートは 2 頁程度とします。執筆の詳細は，「和文論文誌 C 投稿のしおり」[https://www.ieice.org/jpn/shiori/es\\_mokuji.html](https://www.ieice.org/jpn/shiori/es_mokuji.html) を御参照下さい。なお，査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があることをあらかじめ御了承下さい。

### 3. 論文投稿締切日：2020 年 3 月 31 日（日）厳守

掲載料支払期限：2020 年 9 月 25 日

※掲載料前払い制導入に伴い，上記の支払期限が設けられておりますので御注意下さい。

詳細は以下 URL を御参照下さい。

[https://www.ieice.org/jpn/shiori/es\\_6-10.html](https://www.ieice.org/jpn/shiori/es_6-10.html)

### 4. 論文投稿方法

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし，投稿原稿の PDF ファイル・編集用電子ファイルを登録し，WEB 上で著作権譲渡手続きを進めて下さい。投稿手続きについて御不明な点がございましたら，学会事務局まで御連絡下さい。

### 【学会事務局連絡先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

E-mail：wabun-c@ieice.org

### 5. 問合せ先

平野拓一 東京都市大学，清水隆志 宇都宮大学

E-mail：thirano@tcu.ac.jp，tshimizu@cc.utsunomiya-u.ac.jp

### 6. 特集編集委員会

委員長：西川健二郎（鹿児島大）

幹事：平野拓一（東京都市大），清水隆志（宇都宮大）

編集委員：金谷晴一（九大），半谷政毅（三菱電機），高野恭弥（東京理科大），河口民雄（東芝），河合 正（兵庫県立大），山本和也（三菱電機），山本綱之（山口大），関 智弘（日本大），岸川諒子（AIST）鈴木恭宜（NTT ドコモ），塩見英久（阪大）